

椋鳩十のおススメ作品を絵で表そう～読書感想画～

[大造じいさんとガン（光村図書）]

第5学年 5名 指導者 原田圭輔

本単元で育成する資質・能力 論理的思考力・表現力・主体性

単元について

本単元は、学習指導要領C読むこと「エ登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」「オ本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」を受けて設定したものである。

本教材は、椋鳩十が大造じいさんから聞いた話をもとにして作った童話作品である。大造じいさんと残雪(ガンの頭領)との対峙を通して、動物の「えらぶつ」ぶりを描いている。構成は、物語の設定が書いてある前書き、1年目の「うなぎつりばり作戦」の1場面、2年目の「タニシ作戦」の2場面、3年目の「おとり作戦」の3場面、4年目の残雪との別れの4場面に分かれている。

場面の様子や風景を描いた表現から登場人物の心情や性格が想像できる「情景描写」が多く、優れた叙述を見つけ、それについて自分の考えをまとめるには適した教材である。

児童の実態

テストから見える児童の課題

読むこと「なまえつけてよ」	92.0
読むこと（活用） 「あしたもきつと チョウ日和」	86.0

叙述を基に心情を読み取る問題や登場人物の相互関係を読み取る問題の両方に課題が見られた。授業でも、根拠を明確にせず、自分の意見や考えを発表していることが多く見られる。叙述のみを表面的に読んでいたり、物語の流れを捉え間違えた勝手な読みをしていたりする。

叙述をよく読むこと、物語の流れに沿って心情や相互関係を想像することが課題であると言える。

指導にあたって

指導にあたっては、活動目標を「椋鳩十のおススメ作品を絵で表そう」と設定し、椋鳩十作品を読んで「よかった!」「すてきだ!」「いいな!」と感じたことや印象をもとに自分の感動を伝える絵(読書感想画)を描く。そのために、「大造じいさんとガン」の情景描写を読み取ったり、椋鳩十の作家像と関連付けながら作品に込めた思いを考えたりする。自分の感動が伝わるようなもの、絵を見た人が「読んでみたい!」と思えるようなものを描くという目的意識をもたせる。

第一次では、本を読んだ感動を表現する方法として、「読書感想画」というものがあることを教える。椋鳩十の作品を読んで、自分が感動した作品の読書感想画を描くという学習課題を設定する。また、「作家像」(生涯、人柄、考え方等)をつかんでから作品を読むという方法があることを新しく学ばせる。

第二次では、「大造じいさんとガン」について、大まかにあらすじや大造じいさんの心情を読み取った後、場面ごとに大造じいさんの心情を表現している言葉や文(情景描写)を見つけ出し、絵に表す。情景描写を使って、作者は何を読者に伝えようとしているのか話し合う。まとめとして、自分が感動した場面の絵を情景描写や椋鳩十の作家像をもとに描き、互いに発表し合う。

第三次では、これまでの学習を活かして、自分が気に入った椋鳩十作品の読書感想画を描く。

単元の目標

- 作者に関する資料や作品を進んで読み、読書感想画を描こうとしている。【関・意・態】
- 中心人物の心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。【読むこと エ】
- 作者についての資料や作者の作品を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。【読むこと オ】
- 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。【言語事項 イ(ケ)】

単元でつくれる力

- 登場人物の心情、場面についての描写を見つけ、想像し、優れた叙述について自分の考えをまとめる力。
- 作者について調べたり、作者の様々な作品を読んだりしたことをもとに、作家像や作品を相互に関連付けて考える力。

そのための言語活動

お気に入りの作品を選び、作家像と文章の表現(情景描写等)を関連付けて読み、自分の感動を伝える読書感想画を描く。

評価規準

教科【国語科】			育成しようとする 資質・能力
関心・意欲・態度	読む能力 (★論理的思考力) (☆表現力)	言語についての 知識・理解・技能	
<p>椋鳩十に関する資料や椋鳩十の作品を進んで読み、お気に入りの作品を選び、感動した場面について読書感想画に表そうとしている。</p>	<p>★大造じいさんの心情，4つの場面それぞれについての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめている。</p> <p>☆椋鳩十についての資料や椋鳩十の作品を読んで考えたことを発表し合い，自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。</p>	<p>【論理的思考力】 作者に関する資料や作品を多面的に見たり，仮定，推論したりする等，根拠をもって筋道立てて考えている。</p> <p>【表現力】 自分の考えについて場に合った適切な言葉遣いで話したり，自分の考えと比較しながら聞いたりして，考えをまとめる。</p> <p>【主体性】 作者に関する資料や作品を相互に関連付けて進んで読み，学びを連続・発展させている。</p>

本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

【論理的思考力】

これまで，作者と作品とを関連付けて読む学習は行っていない。高学年では，1つの作品で読みを終わらせるのではなく，作者の生き方と作品を結びつけたり，作品同士を結び付けたりして読むことが大切になってくる。そこで，今回は椋鳩十の人生を調べたり，様々な椋鳩十作品を読んだりすることで，作者が作品に込めた思いや作者の生き方について考えられるようにする。また，「読書感想画を描く」という言語活動のもと，優れた叙述にこだわって自分の考えをまとめることで，深く読む力もつけていきたい。以上の学習活動を通して論理的思考力を高めていく。

【表現力】

「読書感想画」は読み手によって感動のポイントが異なるため，様々な絵が表現される。自分の考えを友達にはっきりと伝えたり，友達の考えを自分と比較しながら聞いたりすることで，多様な読みに接することができる。また，絵とも対話しながら自分の考えを広げたり深めたりしていくことによって，表現力を高めていきたい。

【主体性】

作者と作品とをつなげて読む学習を繰り返すことで，総合的に考え，課題発見，追究，解決という学びを連続させ，発展させていくことを期待する。そのために，様々な資料や作品を用意したり，読書記録カードを活用させたりする。

研究仮説にかかわって

【思考の「見える」化】

児童の思考を「見える」化するために，ノート指導では，物語の「ナゾ」を設定し，それらを解決するために考えた児童の読みや集団での深まった読みを書かせる。個人で考える時間を確保し，考えたことをノートに確実に書かせる。また，話し合いをしながら深まっていった考えはその都度ノートへ記入させる。また，並行読書で読んだ本についての記録をノートにさせる。あらすじや感想，情景描写をまとめさせる。読書感想画を描く時に活用できるように記録させる。

【相手や目的等の「意識」化】

本単元では，言語活動を「読書感想画」と設定している。相手は，椋鳩十作品を読んだことがない人であり，目的は，お気に入りの作品で自分が感動した場面を伝え，相手に椋鳩十について興味をもってもらったり，作品を読んでもらったりするきっかけをつくることである。

「意識」化させるために，自分の感動したことは何か，その絵で作品の様子や作者の思いが伝わるか，相手に興味をもってもらえるか等，並行読書時に適宜指導したり，読書感想画を描く時に伝えたりする。

指導計画 (全15時間)

次	時	学習活動	評価			
			関	読	言	評価規準 (評価方法)
一	1	課題の設定 学習課題「読書感想画コンクールに応募しよう」を設定し、過去に入賞した読書感想画を見て、学習計画を立てる。	○			学習課題から学習の見通しをもち、学習計画を立てている。 (ノート、発言)
	2 3	情報の収集 整理・分析 椋鳩十の資料を読み、椋鳩十の作家像をつかむ。		○		椋鳩十についての資料を読んで、わかったことをまとめたり、考えたことを発表したりしている。 (ノート、発言)
	4	情報の収集 物語「大造じいさんとガン」を読み、一人学びをする。	○			物語を進んで読み、物語の「ナゾ」を見つけたり、大まかな内容をつかんだりしている。(ノート)
二	5	情報の収集 整理・分析 あらすじと大造じいさんの心情の変化について大まかに整理する。		○		本文をもとに、あらすじや中心人物の心情の変化について大まかにつかんでいる。(ノート、発言)
	6 7	情報の収集 整理・分析 大造じいさんの心情や場面の様子を表す言葉や文をもとに、1場面を絵に表す。		◎	○	場面の描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。表現の工夫に気付いている。 (ノート、発言、絵)
	8 9	情報の収集 整理・分析 大造じいさんの心情や場面の様子を表す言葉や文をもとに、2場面を絵に表す。		◎	○	場面の描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 表現の工夫に気付いている。 (ノート、発言、絵)
	10 11	情報の収集 整理・分析 本時 11時 大造じいさんの心情や場面の様子を表す言葉や文をもとに、3場面を絵に表す。		◎	○	場面の描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 表現の工夫に気付いている。 (ノート、発言、絵)
	12 13	情報の収集 整理・分析 大造じいさんの心情や場面の様子を表す言葉や文をもとに、4場面を絵に表す。 作品を通して、椋鳩十が伝えたかったことについて考える。		◎	○	場面の描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 表現の工夫に気付いている。 (ノート、発言、絵)
	14	まとめ・創造・表現 「大造じいさんとガン」の読書感想画を描き、作画感想を原稿用紙に書く。	○	◎		作者や作品を関連付けて考え、絵に表して発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (ノート、絵)
	15	まとめ・創造・表現 自分が選んだ椋鳩十作品の読書感想画を描き、作画感想を原稿用紙に書く。(読書感想画制作は図画工作科の時間を充てる＝4時間)	○	◎		作者や作品を関連付けて考え、絵に表して発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (ノート、絵)
		実行・振り返り	学習発表会での展示、読書感想画コンクール応募			

椋鳩十作品の並行読書

宮沢賢治のおススメ作品を絵で表そう～読書感想画～

[やまなし（光村図書）]

第6学年 7名 指導者 原田圭輔

本単元で育成する資質・能力 論理的思考力・表現力・主体性

単元について

本単元は、学習指導要領C読むこと「エ登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」「オ本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」を受けて設定したものである。

本教材は、宮沢賢治が生前に発表したメルヘン（童話）作品である。妹トシが亡くなった後に発表された作品である。

小さな谷川の底を写した「五月」と「十二月」の2枚の青い幻灯から場面が構成され、季節、時間、登場するもの、色、表現技法等が異なり、対比的に描かれている。どちらもカニの親子を視点として描かれている。

場面の様子や情景を描いた表現からカニの心情が想像できる「情景描写」や、オノマトペ、作者の独特な表現が多く、優れた叙述を見つけ、それに対しての自分の考えをまとめるには適した教材である。

児童の実態

テストから見える児童の課題

読むこと「カレーライス」	90.0
読むこと（活用）「五月になれば」	91.4

叙述を基に心情を読み取る問題や登場人物の相互関係を読み取る問題の両方に課題が見られた。授業でも、根拠を明確にせず、自分の意見や考えを発表していることが多く見られる。また、根拠をもって読んでいるが、大事なポイントを抜かして答えていることもある。叙述のみを表面的に読んでいたり、物語の流れを捉え間違えた勝手な読みをしていたり、大事な言葉を押さえずに読んでいたりする。

叙述をよく読むこと、物語の流れに沿って心情や相互関係を想像すること、大事な言葉を押さえて自分の読みをもつことが課題であると言える。

指導にあたって

指導にあたっては、活動目標を「宮沢賢治のおススメ作品を絵で表そう」と設定し、宮沢賢治作品を読んで「よかった!」「すてきだ!」「いいな!」と感じたことや印象をもとに自分の感動を伝える絵（読書感想画）を描く。そのために、「やまなし」の情景描写を読み取ったり、宮沢賢治の作家像と関連付けながら作品に込めた思いを考えたりする。自分の感動が伝わるようなもの、絵を見た人が「読んでみたい!」と思えるようなものを描くという目的意識をもたせる。

第一次では、本を読んだ感動を表現する方法として、「読書感想画」というものがあることを教える。宮沢賢治の作品を読んで、自分が感動した作品の読書感想画を描くという学習課題を設定する。宮沢賢治の作品は宮沢賢治の信条が強く表れているので、宮沢賢治という「作家像」（生涯、人柄、考え方等）をつかんでから読解の学習に入るようにする。

第二次では、「やまなし」について、大まかにあらすじやかにの兄弟の心情を読み取った後、5月と12月のかにの兄弟の心情を表現している言葉や文（情景描写）を見つけ出し、絵に表す。情景描写やオノマトペ等の表現技法を使って、作者は何を読者に伝えようとしているのか話し合う。まとめとして、自分が感動したところの絵を情景描写や宮沢賢治の作家像をもとに描き、互いに発表し合う。

第三次では、これまでの学習を活かして、自分が気に入った宮沢賢治作品の読書感想画を描く。

単元の目標

- 作者に関する資料や作品を進んで読み、読書感想画を描こうとしている。【関・意・態】
- 中心人物の心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。【読むこと エ】
- 作者についての資料や作者の作品を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。【読むこと オ】
- 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。【言語事項 イ(ケ)】

単元でつける力

- 登場人物の心情、場面についての描写を見つけ、想像し、優れた叙述について自分の考えをまとめる力。
- 作者について調べたり、作者の様々な作品を読んだりしたことをもとに、作家像や作品を相互に関連付けて考える力。

そのための言語活動

お気に入りの作品を選び、作家像と文章の表現（情景描写等）を関連付けて読み、自分の感動を伝える読書感想画を描く。

評価規準

教科【国語科】			育成しようとする 資質・能力
関心・意欲・態度	読む能力 (★論理的思考力) (☆表現力)	言語についての 知識・理解・技能	
宮沢賢治に関する資料や作品を進んで読み、お気に入りの作品を選び、感動した場面について読書感想画に表そうとしている。	★かへの兄弟の心情、5月と12月それぞれについての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 ☆宮沢賢治についての資料や宮沢賢治の作品を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。	比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。	【論理的思考力】 作者に関する資料や作品を多面的に見たり、仮定、推論したりする等、根拠をもって筋道立てて考えている。 【表現力】 自分の考えについて場に合った適切な言葉遣いで話したり、自分の考えと比較しながら聞いたりして、考えをまとめている。 【主体性】 作者に関する資料や作品を相互に関連付けて進んで読み、学びを連続・発展させている。

本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

【論理的思考力】

昨年度、椋鳩十の作家像と作品とを結びつけて読む学習を行った。作品に込めた椋鳩十の思いや椋鳩十の生き方について読み取ったり、考えたりすることができた。しかし、根拠が明確でなかったり、特徴的な叙述を表面的に捉えた浅い読みをしたりしている。そこで、「読書感想画を描く」という言語活動のもと、優れた叙述にこだわって自分の考えをまとめたり、根拠をもって作者や作品について捉えたりする学習活動を通して、論理的思考力を高めていきたい。

【表現力】

「読書感想画」は読み手によって感動のポイントが異なるため、様々な絵が表現される。自分の考えを友達にはっきりと伝えたり、友達の考えを自分と比較しながら聞いたりすることで、多様な読みに接することができる。また、絵とも対話しながら自分の考えを広げたり深めたりしていくことによって、表現力を高めていきたい。

【主体性】

作者と作品とをつなげて読む学習を繰り返すことで、総合的に考え、課題発見、追究、解決という学びを連続させ、発展させていくことを期待する。そのために、様々な資料や作品を用意したり、読書記録カードを活用させたりする。

研究仮説にかかわって

【思考の「見える」化】

児童の思考を「見える」化するために、ノート指導では、物語の「ナゾ」を設定し、それらを解決するために考えた児童の読みや集団での深まった読みを書かせる。個人で考える時間を確保し、考えたことをノートに確実に書かせる。また、話し合いをしながら深まっていった考えはその都度ノートへ記入させる。また、並行読書で読んだ本についての記録をノートにさせる。あらすじや感想、情景描写をまとめさせる。読書感想画を描く時に活用できるように記録させる。

【相手や目的等の「意識」化】

本単元では、言語活動を「読書感想画」と設定している。相手は、宮沢賢治作品を読んだことがない人であり、目的は、お気に入りの作品で自分が感動した場面を伝え、相手に宮沢賢治について興味をもってもらったり、作品を読んでもらったりするきっかけをつくることである。

「意識」化させるために、自分の感動したことは何か、その絵で作品の様子や作者の思いが伝わるか、相手に興味をもってもらえるか等、並行読書時に適宜指導したり、読書感想画を描く時に伝えたりする。

指導計画 (全15時間)

次	時	学習活動	評価			
			関	読	言	評価規準 (評価方法)
一	1	課題の設定 学習課題「読書感想画コンクールに応募しよう」を設定し、過去に入賞した読書感想画を見て、学習計画を立てる。	○			学習課題から学習の見通しをもち、学習計画を立てている。 (ノート, 発言)
	2 3	情報の収集 整理・分析 資料「イーハトーヴの夢」, 宮沢賢治の資料や伝記を読み, 宮沢賢治の作家像をつかむ。		○		宮沢賢治についての資料を読んで, わかったことをまとめたり, 考えたことを発表したりしている。 (ノート, 発言)
	4	情報の収集 物語「やまなし」を読み, 一人学びをする。	○			物語を進んで読み, 物語の「ナゾ」を見つけたり, 大まかな内容をつかんだりしている。(ノート)
二	5	情報の収集 整理・分析 あらすじとかにの兄弟の心情の変化について大まかに整理する。		○		本文をもとに, あらすじや中心人物の心情の変化について大まかにつかんでいる。(ノート, 発言)
	6 7	情報の収集 整理・分析 かにの兄弟の心情や場面の様子を表す言葉や文をもとに, 5月の前半を絵に表す。		◎	○	場面の描写をとらえ, 優れた叙述について自分の考えをまとめている。表現の工夫に気付いている。 (ノート, 発言, 絵)
	8 9	情報の収集 整理・分析 かにの兄弟の心情や場面の様子を表す言葉や文をもとに, 5月の後半を絵に表す。		◎	○	場面の描写をとらえ, 優れた叙述について自分の考えをまとめている。表現の工夫に気付いている。 (ノート, 発言, 絵)
	10 11	情報の収集 整理・分析 本時 11時 かにの兄弟の心情や場面の様子を表す言葉や文をもとに, 12月を絵に表す。		◎	○	場面の描写をとらえ, 優れた叙述について自分の考えをまとめている。表現の工夫に気付いている。 (ノート, 発言, 絵)
	12 13	情報の収集 整理・分析 全体をふりかえって, 宮沢賢治が作品を通して伝えたかったことについて自分の考えをまとめて考える。		◎	○	作品の表現の工夫をもとに, 作者が作品を通して伝えたかったことについて自分の考えをまとめている。(ノート)
	14	まとめ・創造・表現 「やまなし」の読書感想画を描き, 作画感想を原稿用紙に書く。	○	◎		作者や作品を関連付けて考え, 絵に表して発表し合い, 自分の考えを広げたり深めたりしている。 (ノート, 絵)
	15	まとめ・創造・表現 自分が選んだ宮沢賢治作品の読書感想画を描き, 作画感想を原稿用紙に書く。 (読書感想画制作は図画工作科の時間を充てる=4時間)	○	◎		作者や作品を関連付けて考え, 絵に表して発表し合い, 自分の考えを広げたり深めたりしている。 (ノート, 絵)
		実行・振り返り	学習発表会での展示, 読書感想画コンクール応募			

宮沢賢治作品の並行読書

本時の学習

【5 学年 本時の目標】

○3 場面の大造じいさんの心情や場面の様子を表した「情景描写」をもとに絵に表すことを通して、優れた叙述から椋鳩十が読者に伝えようとしたことについて自分の考えをまとめることができる。

【準備物】

児童が描いた3場面の絵（A5サイズ）、これまでの学習の掲示物

【6 学年 本時の目標】

○12 月のかにの兄弟の心情や場面の様子を表した「情景描写」をもとに絵に表すことを通して、優れた叙述から宮沢賢治が読者に伝えようとしたことについて自分の考えをまとめることができる。

【準備物】

児童が描いた12月の絵（A5サイズ）、これまでの学習の掲示物

○評価規準【教科】 (評価方法) ★望ましい姿【資質・能力】	指導上の留意点	学習活動		学習活動	指導上の留意点	○評価規準【教科】 (評価方法) ★望ましい姿【資質・能力】	
<p>○ 読む</p> <p>★ 論理的思考力 優れた叙述から椋鳩十が読者に伝えようとしたことについて自分の考えをまとめている。 (ノート, 発言)</p> <p>★ 表現力 根拠を明確に示して, 自分の考えをまとめ, 友達に分かってもらえるように伝えている。 (発言)</p>	<p>・学習計画から本時のめあてを確認させる。</p>	<p>1 本時のめあてを確認する。</p>		<p>1 本時のめあてを確認する。</p>	<p>・学習計画から本時のめあてを確認させる。</p>		
	<p>3 場面の表現から, 作者はどんなことを読者に伝えたかったのだろう。</p>				<p>12 月の表現から, 作者はどんなことを読者に伝えたかったのだろう。</p>		
	<p>・それぞれの児童が描いた絵を時系列に沿って黒板に貼らせ, 発表させる。</p>	<p>2 描いた絵を発表し合う。</p>		<p>2 描いた絵を発表し合う。</p>	<p>・それぞれの児童が描いた絵を時系列に沿って黒板に貼らせ, 発表させる。</p>		
	<p>どの情景描写から絵を描きましたか。また, 絵を描いてわかったことや考えたことは何ですか。</p>				<p>どの情景描写から絵を描きましたか。また, 絵を描いてわかったことや考えたことは何ですか。</p>		
	<p>【児童の出されると予想される情景描写】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青くすんだ空を見上げながら, にっこりとなりました。P124,L9 東の空が真っ赤に燃えて, 朝が来ました。P124,L13 冷え冷えするじゅうしんをぎゅっとにぎりしめました。P125,L4 白い羽毛があかつきの空に光って散りました。P126,L12 羽が白い花弁のように, すんだ空に飛び散りました。P128,L4 	<p>3 物語の「ナヅ」を解き, 大造じいさんの心情の変化をとらえる。</p>		<p>【児童から出されると予想される情景描写】</p> <ul style="list-style-type: none"> ラムネのびんの月光が…P114,L12 波が青白い火を…P115,L1 そのとき, トブン。P116,L11 きらきらと黄金のぶちが…P116,L13 そこらの月明かりの水のなかは…P117,L7 ぼかぼか流れていく…P117,L9 水はサラサラ鳴り, 天井の波は…P117,L13 月光のにじがもかもか集まりました。P118,L1 青白いほのおをゆらゆらと上げました。P118,L10 金剛石の粉をはいているようでした。P118,L11 	<p>特徴的なオノマトペについては全体で考えさせる時間をつくる。</p>		
<p>・はじめは残雪に対して「たかが鳥だ」と思っていたことを確認させる。</p>			<p>3 物語の「ナヅ」を解き, 作品の主題をとらえる。</p>	<p>・12月にしか「やまなし」が出てきていないことを気付かせる。</p>			
<p>「大造じいさんは, 強く心を打たれて, ただの鳥に対してのような気がしませんでした。」と書いてありますが, 大造じいさんは何に強く心を打たれ, 残雪に対してどう思うようになったのですか。</p>				<p>12月にしか出てこない「やまなし」がなぜ題名になっているのですか。</p>			
<p>・残雪がハヤブサと戦っている様子や自分(大造じいさん)と対峙した時の様子に線を引きさせることで, それらが「頭領としての」行動であることに気付かせる。</p>	<p>【児童の予想される意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥と思ってバカにはいけない。 動物にも人間のような強い思いがある。 知恵があるだけでなく, 勇気もある。 	<p>4 椋鳩十が表現に込めた思いについて考え, まとめる。</p>		<p>【児童の予想される意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月の世界を伝えたい。 静かな世界, 優しい世界が好き。 生かされる死, 喜ばれる死がよい。 	<p>・5月の絵や学習を思い出させ, どころが違うか見つけさせることで, 「やまなし」の意味について考えさせる</p>		
<p>3 場面の表現から, 作者はどんなことを読者に伝えたかったのでしょうか。</p>				<p>12月の表現から, 作者はどんなことを読者に伝えたかったのでしょうか。</p>			
<p>・直接的な表現ではなく, 情景描写等の間接的な表現を使っているのか考えさせる。</p>	<p>・大造じいさんの残雪に対する見方が, 残雪の生き方, 様子によって変わったこと。</p> <p>・自然の中にもドラマがある。</p> <p>・動物も人間のようにたくましく生きている。</p>	<p>5 本時の学習を振り返り, 次時の内容を確認する。</p>		<p>・5月のようなこわい世界だけでなく, 12月のような楽しい世界もある。</p> <p>・こわい死だけでなく, 喜ばれる死もある。</p> <p>・冬も自然は動いている。</p>	<p>・オノマトペや情景描写等の間接的な表現をなぜ多く使っているのか考えさせる。</p>		
<p>・新しく知ったこと, 学習の仕方, 学習の活かし方について整理する。</p>			<p>5 本時の学習を振り返り, 次時の内容を確認する。</p>	<p>・新しく知ったこと, 学習の仕方, 学習の活かし方について整理する。</p>			

○ 読む

★ 論理的思考力
優れた叙述から宮沢賢治が読者に伝えようとしたことについて自分の考えをまとめている。
(ノート, 発言)

★ 表現力
根拠を明確に示して, 自分の考えをまとめ, 友達に分かってもらえるように伝えている。
(発言)